

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

● R.I.会長 / イアン・H.S.ライズリー ● 地区ガバナー / 瀧川 好庸
● 会長 / 大西 淳滋郎 ● 幹事 / 井上 孝明 ● クラブ会報委員長 / 宮本 鹿司夫
● 事務局 / 〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー：
変化をもたらす

第 2122 号

平成30年 4月 5日 (木) No 34

新会員自己紹介：衣笠 昭平会員

RYLA 研修報告：田端 和彦会員



★ 会長挨拶



★ 田端 和彦会員



★ 衣笠 昭平会員

会長あいさつ

大西 淳滋郎

皆さん、こんにちは。さて、今月は「母子の健康」月間です。2014年10月・RI理事会は、4月を「母子の健康月間」としました。5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊産婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間です。罹患率とは、ある期間内（多くの場合1年）に発生した患者数をそれに対応する人口で割ったもので、疾病の発生率ということもできます。

今なお世界では出産数10万人あたり210人の妊産婦が、そして出生数1000人あたり20人の新生児が命を落としています。我が国の場合は、それぞれ妊産婦は10万人あたり3.8人、新生児は1000人あたり1人の死亡率であることと比較すると、いかに多い数字かお分かり頂けると思います。いずれも適切な医療サービスの提供・家族計画の指導・疾病予防の啓発・栄養失調の予防といったケアに取り組むことで、多くの命を救うことができます。そして、ロータリーは、世界各地で、母子の健康を改善し、妊婦・乳幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援しています。家庭・地域社会そして世界の健全な持続・発展は、母子の健康を抜きにしては語れず、ロータリアンとして重点的に取り組まねばならない問題なのです。具体的な活動例・支援の方法等については、MY ROTARY 他を参照いただきますようお願いいたします。

罹患率の高い国の特徴は、根底に生活様式、文化、宗教の違い、そして最も重要なのは識字率（教育、知育）の問題と地域紛争があります。発展途上国の健康問題の解決には紛争終結も重要であるが、先ず識字率の向上に力を入れるべきであり識字率の向上無くしては難しいと思います。

ここでご存じの方もあろうかと思いますが、ネイティブアメリカンに伝わる「子育ての教え」をご紹介します。

1. 乳児は肌を離すな。
2. 幼児は肌を離して、手を離すな。
3. 少年は手を離して、目を離すな。
4. 青年は目を離して、心を離すな。

「子供たちはこうして生きかたを学びます」

Children Learn What They Live by 『アメリカインディアンの教え』

1. 批判ばかり受けて育つと、非難ばかりするようになります。
2. 敵意に囲まれて育つと、争うことが好きな子どもになります。
3. ひやかされて育つと、はにかみ屋になります。
4. ねたみを受けて育つと、いつも悪いことをしているような気持ちになります。
5. 心が寛大な中で育つと、我慢強くなります。
6. ほめられて育つと、感謝する子どもになります。

7. はげまされて育つと、自信を持った子どもになります。
 8. 公正な中で育つと、正義感が強くなります。
 9. 人に認められて育つと、自分自身を大切にします。
 10. 寛容な環境で育つと、がまん強くなります。
 11. 仲間の愛の中で育つと、世界中に愛を見つけます。
- 生まれた時、君は泣き、まわりは笑った。
だから、死ぬ時は君が笑い、まわりが泣くような人生を送りなさい。
本日の会長の時間を終わります。